

## LPガスCP速報(2019年12月積)

### 1. 12月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **440** <sup>ドル</sup> (前月比+10 <sup>ドル</sup>)

ブタン **455** <sup>ドル</sup> (前月比+10 <sup>ドル</sup>)

#### ① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油市況が上昇するなか、中国、インドの需要は一服したが、インドネシアの引き合いが強い。気温低下で本格的な需要期入り、米国の濃霧の影響も懸念され市況はじり高となった。CP先物は第2週以降続騰、極東CFR市況は第3週末にプロパン465 <sup>ドル</sup>、ブタン480 <sup>ドル</sup>、更に続騰している。

全米プロパン在庫は、輸出が増加、需要は気温低下と穀物乾燥用が本格化し減少に転じたものの前年同期を15%上回り過去5年平均の上部(グラフ②)。米モンベルビュープロパンスポット価格は、原油市況に連れ高、在庫減少もあり前月比35 <sup>ドル</sup> 上げの276 <sup>ドル</sup> どころ(グラフ①)。

フレート市況はIMO対策(スクラバー搭載修繕含む)、パナマ運河渋滞、米国周りの非効率化など備船需給はタイト感、70 <sup>ドル</sup> 台半ばから後半で推移した。

ナフサは先月のサウジ石油施設攻撃を受け上昇、6か月ぶり高値を付けており、月間平均は540 <sup>ドル</sup>、前月比25 <sup>ドル</sup> の上昇。

バンカーオイルは、IMO対策もありC重油は続落、IFO380は月間平均で前月比35 <sup>ドル</sup> 安の340 <sup>ドル</sup> どころとなったが、LSMGO(低硫黄マリンガスオイル)は9 <sup>ドル</sup> 下げの580 <sup>ドル</sup> どころ、C重油との格差は240 <sup>ドル</sup> に広がった。

12月CPは前年同月比プロパン5 <sup>ドル</sup> 安、ブタン40 <sup>ドル</sup> 高。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン、ブタン3ポイントそれぞれ低下、前年同月比ではプロパン1ポイント、ブタン10ポイントそれぞれ高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	74.7	76.1	78.9	75.6	76.3
CP先物指標：P	415	410	420	430	419
CP先物指標：B	420	420	435	445	430

#### ② 原油市況等

WTI市況の推移をみると、11月は55~58 <sup>ドル</sup> 台の狭いレンジで推移した。買い材料となったのは、①米中通商協議の「第1段」合意期待、②OPECプラスの12月会合での協調減産延長観測(6月まで)、③イランのウラン濃縮再開、米空母打撃郡のペルシャ湾入り、各国デモなど中東地政学的リスクが挙げられるが、米中貿易協議では具体的な内容が示されず不透明感が強く狭いレンジでの上げ下げの原因の一つとなっている。経済指標も強弱まちまちで世界的な景気減速によるエネルギー需要下振れ懸念が上値を重くしている。

一方、米国内原油生産量は1,290万b/dの過去最高を更新、製油所定修が一巡し稼働率が上昇してきたが低水準、原油在庫は増加し対前年同期比100.3%ながら4億5千万b1の高水準。原油輸出は300万b/d超の高水準が続いたのに対し輸入量は減少、15日の週にはまたも原油・石油製品ネットで輸出国となった。米石油リグ稼働数は減少、直近で前年同期を276基下回る671基となり2017年4月以来の水準で原油市況を下支え。CFTC発表の大口投機玉の買越残高は19日時点では430千枚に増加、総取組高は26日時点で219万枚、前月末から16万枚増加。米株価が最高値を更新しリスクオンの状態となっている。

○11月積みアラビアン・ライト(11月1~28日の想定)は65.76 <sup>ドル</sup> (前月比+3.65 <sup>ドル</sup>)

熱量等価AL100% プロパン539.16 <sup>ドル</sup>/ト ン ブタン531.77 <sup>ドル</sup>/ト ン

AL比 プロパン81.61% ブタン85.56%

\*上記ALはE I N推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

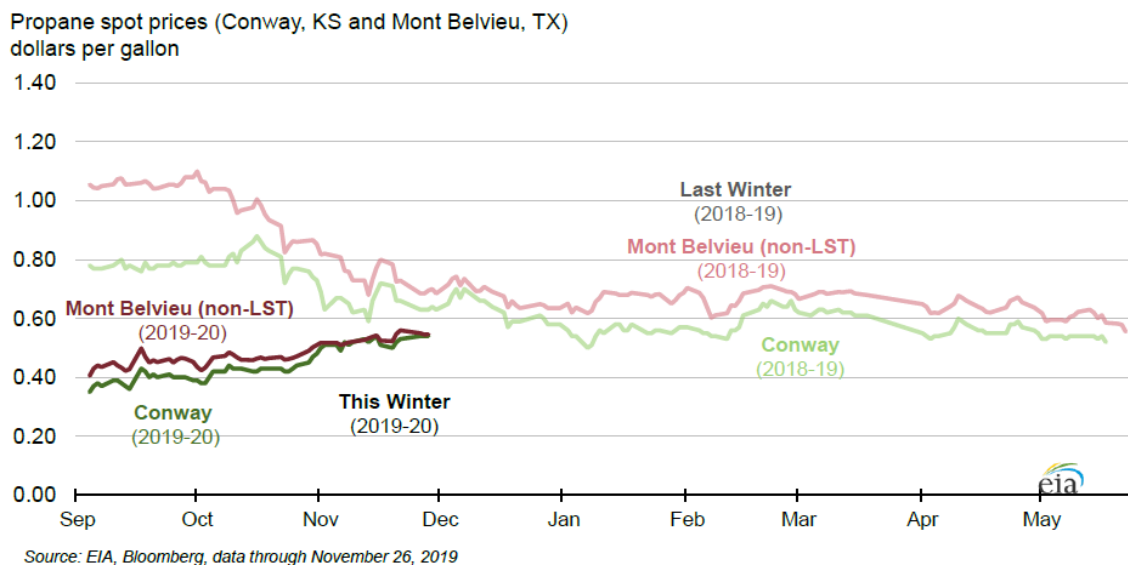
## 2. 2019年12月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

適用為替	T T S	P円建CP	B円建CP	MB合成P	P前月比	B前月比	合成P前月比
①20日締め	109.80	54,600	56,200	53,400	+1,600	+1,700	+2,300
②末日締め	109.86	47,800	49,400	46,000	+1,400	+1,400	+2,200

\* T T S平均について、①が10月21日～11月20日、②11月1～28日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①がCP75%、MB25%、②がCP70%、MB30%で算定。①は中東・北米フレートを含むCFRコストを②はFOB（北米経費込み）コストを表示。

なお、上記MBは11月26日までの価格を基にE I Nで試算（276ドル/ト）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定やフォーミュラ見直しもなされるため、仕切等の詳細はW e bサイトを参照。

### ①米国プロパンスポット価格推移



### ②全米プロパン在庫

